

市議団速報

e-mail:info@jcp-niigata-shigidan.com NO. 199

2018年3月6日

日本共産党
新潟市議会議員団

電話 025-226-3450

FAX 025-223-7748

2月議会

「地域への再投資を減らし、地域の消費の力を削ぐ予算案だ」と指摘 —— 新年度予算案勉強会で 倉茂政樹議員が質疑 ——



倉茂政樹議員

日本共産党議員団の倉茂政樹議員は、2月21日に開かれた新潟市議会の新年度予算案勉強会で、副市長などに対し、次のような質疑を行いました。

地域にお金が回る仕組みを壊す予算案

「健幸すまいリフォーム助成事業」は、2017年度の予算額は1億円で、補助額の15倍の15億円の仕事が生み出されていますが、新年度予算案では3000万円の減額となつていきます。

また、「地域商店魅力アップ応援事業」（商店リニューアル助成）は、17年度予算では補助額7500万円で、補助額の3倍の2億2千500万円の仕事を市内に生み出したことになりません。しかし、新年度予算案では、

「がんばるまちなか支援事業」と統合されて「次世代店舗支援事業」となり、削減額は合計で6300万円におよびます。

倉茂議員は、今回の全事業点検により、健幸すまいリフォーム助成事業と次世代店舗支援事業の合計で約1億円も予算が削減されているが、地域経済への影響についてどのように検討したのかと追及しました。

また、高齢者・障がい者向け住宅リフォーム助成事業も3400万円の減額となっていることについて、「高齢者や障がい者が地域で住み続けたいという願いに応える制度であり、事業点検の対象から除外するなどの検討はなされなかったか」と、市の姿勢をたどしました。

市農業の土台＝コメの関係予算をバツサリ

新年度予算案は、「がんばる農家支援事業」「たんぼフル活用促進事業」「多様な米作り推進事業」の3事業を「元気の農業応援事業」に統合し、合計で9千万円の予算減となっています。コメ関係

予算は統合前の合計約7億円から新年度は3億円となり、4億円も減額となっています。倉茂議員は、「2018年度からコメの直接支払交付金がなくなり、新潟市の農家に支払われていた10億円がなくなる。そのような状況で、今回の予算案は市の農業の土台であるコメに対する支援をどのように検討したのか」と追及しました。



人件費削減で地域の消費力を削ぐ予算案

新年度予算案では、「非常勤職員や臨時職員の配置適正化」の名で、通年雇用120人相当、2億5千万円が削減されています。また、職員の退職手当支給率を3・79%削減するとしています。新年度の影響額は約3億5千万円におよびます。

倉茂議員は、「地域の消費の力という観点からみると、退職手当の

削減と非常勤・臨時職員の削減で合計6億円も地域の消費の力を削ぐことになるが、検討されたのか」とただしました。

水と土の芸術祭は「開港150周年」に水を差す

倉茂議員は、「新年度予算編成への意見募集で、水と土の芸術祭推進事業は16件中15件が廃止を求めている」と指摘。水と土の芸術祭は「開港150周年」行事のメイン企画と位置づけられているが、市民の批判の声が高まっている中で、芸術祭の開催は「開港150周年」の行事に水を差すことになる」とし、中止を含めた検討を求めました。

最後に、倉茂議員は「地域経済を活性化させ、市民所得を増やすことが市税の増収につながる。しかし、新年度予算案は、地域への再投資を促す仕組みを縮減し、さらに地域の消費の力を削ぐものとなっている」と指摘しました。

2月議会日程

- 3月6日(火) 一般質問
- 7日(水)～9日(金) 各常任委員会
- 12日(月)～15日(木) 各常任委員会
- 16日(金) 各特別委員会
- 20日(火) 議会運営委員会
本会議(採決)